



2024年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年4月12日

上場会社名 日本PCサービス株式会社 上場取引所 名
コード番号 6025 URL <https://www.j-pcs.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 家喜 信行
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 稲田 恵 TEL 06-6734-7722
四半期報告書提出予定日 2024年4月12日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第2四半期の連結業績（2023年9月1日～2024年2月29日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第2四半期	3,005	△5.0	25	-	16	-	49	-
2023年8月期第2四半期	3,164	4.4	△19	-	△20	-	△14	-

(注) 包括利益 2024年8月期第2四半期 68百万円 (-%) 2023年8月期第2四半期 △20百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第2四半期	28.49	-
2023年8月期第2四半期	△8.45	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年8月期第2四半期	2,044	213	10.5	122.89
2023年8月期	1,996	145	7.3	83.53

(参考) 自己資本 2024年8月期第2四半期 213百万円 2023年8月期 145百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年8月期	-	0.00	-	-	-
2024年8月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年8月期の連結業績予想（2023年9月1日～2024年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	8.5	105	310.2	95	-	60	-	34.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規 一社（社名）

除外 一社（社名）株式会社Axis

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年8月期2Q	1,739,800株	2023年8月期	1,739,800株
2024年8月期2Q	212株	2023年8月期	212株
2024年8月期2Q	1,739,588株	2023年8月期2Q	1,739,588株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、このところ足踏みもみられますが、緩やかに回復しております。先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、緩やかな回復が続くことが期待されております。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

当社グループが属する情報通信サービス業界におきましては、コロナ禍で加速したDX化に加え、DX社会ならではのデジタルデバインドなど新たな課題も発生しており、情報通信ネットワーク及びそれらの修理・メンテナンスは、ますます社会的必要性の高まりを見せております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、以下の施策に注力し、2025年8月期を最終年度とする中期経営計画（連結売上高75億円、連結営業利益率5%）達成へ向け、事業活動を行っております。

① リブランディングによる集客強化

「ONE-STOP DIGITAL HOSPITAL」を共通コンセプトとしたグループ各社のリブランディングを推進

② 法人向け事業の拡大

法人及び人材派遣事業の強化

③ 積み上げ型ストック売上の強化

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,005百万円（前年同期比5.0%減）、営業利益は25百万円（前年同期は営業損失19百万円）、経常利益は16百万円（前年同期は経常損失20百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は49百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失14百万円）となりました。

なお、当社グループの主要な事業は、パソコン、タブレット端末、スマートフォン、家庭用ゲーム機器、及びデジタル家電等のネットワーク対応機器に関する設定設置やトラブルに対し、訪問または電話で対応、解決するサービスの提供や、店舗に持ち込まれた機器の修理やトラブル解決を行っており、事業セグメントはスマートライフサポート事業による単一セグメントであります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は2,044百万円(前連結会計年度末比47百万円増)となりました。主な要因は、のれんが157百万円(前連結会計年度末比41百万円減)となった一方で、売掛金が474百万円(前連結会計年度末比53百万円増)、長期貸付金が77百万円(前連結会計年度末比49百万円増)となったことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は1,830百万円(前連結会計年度末比20百万円減)となりました。主な要因は、買掛金が114百万円(前連結会計年度末比40百万円増)、未払金が266百万円(前連結会計年度末比24百万円増)となった一方で、1年内返済予定の長期借入金が232百万円(前連結会計年度末比16百万円減)、長期借入金が370百万円(前連結会計年度末比26百万円減)、その他流動負債が93百万円(前連結会計年度末比38百万円減)となったことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は213百万円(前連結会計年度末比68百万円増)となりました。主な要因は、利益剰余金が前連結会計年度末比49百万円増加し、その他有価証券評価差額金が17百万円(前連結会計年度末比18百万円増)となったことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、647百万円(前年同四半期は508百万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、6百万円(前年同四半期は71百万円の獲得)となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益が79百万円となり、減価償却費が28百万円、のれん償却額が41百万円計上され、仕入債務が42百万円増加した一方で、子会社株式売却益が61百万円計上され、売上債権が59百万円増加、未払消費税等が21百万円減少、法人税等の支払額により資金が23百万円減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、3百万円(前年同四半期は17百万円の使用)となりました。この主な要因は、投資有価証券の売却による収入が9百万円あった一方で、有形固定資産の取得による支出が5百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出が7百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、6百万円(前年同四半期は42百万円の使用)となりました。この主な要因は、長期借入れによる収入が170百万円あった一方で、長期借入金の返済による支出が156百万円、社債の償還による支出が20百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期通期の連結業績予想につきましては、2023年10月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	664,506	647,129
電子記録債権	2,116	703
売掛金	421,426	474,569
商品	247,304	262,622
原材料及び貯蔵品	5,765	4,410
前払費用	115,765	140,388
その他	49,592	54,002
貸倒引当金	△22,246	△22,431
流動資産合計	1,484,229	1,561,393
固定資産		
有形固定資産	58,697	60,566
無形固定資産		
のれん	198,890	157,427
その他	55,181	43,146
無形固定資産合計	254,071	200,573
投資その他の資産		
投資有価証券	26,359	45,273
差入保証金	103,438	98,681
繰延税金資産	54,878	47,085
長期貸付金	28,386	77,423
その他	15,279	13,056
貸倒引当金	△28,636	△59,490
投資その他の資産合計	199,705	222,030
固定資産合計	512,475	483,170
資産合計	1,996,704	2,044,563
負債の部		
流動負債		
買掛金	74,805	114,917
1年内償還予定の社債	40,000	30,000
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	249,561	232,717
未払金	241,842	266,678
未払費用	75,762	70,494
未払法人税等	31,405	36,505
賞与引当金	6,344	11,139
契約負債	135,386	134,954
その他	132,078	93,552
流動負債合計	1,387,187	1,390,958
固定負債		
社債	60,000	50,000
長期借入金	397,262	370,898
その他	6,955	18,920
固定負債合計	464,217	439,818
負債合計	1,851,404	1,830,777
純資産の部		
株主資本		
資本金	360,058	360,058
資本剰余金	156,566	156,566
利益剰余金	△369,663	△320,097
自己株式	△433	△433
株主資本合計	146,528	196,094
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,228	17,692
その他の包括利益累計額合計	△1,228	17,692
純資産合計	145,299	213,786
負債純資産合計	1,996,704	2,044,563

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
売上高	3,164,254	3,005,455
売上原価	2,014,385	1,799,967
売上総利益	1,149,869	1,205,488
販売費及び一般管理費	1,169,182	1,180,444
営業利益又は営業損失(△)	△19,312	25,043
営業外収益		
受取利息	221	368
受取配当金	696	314
助成金収入	1,346	2,592
その他	4,029	1,162
営業外収益合計	6,294	4,438
営業外費用		
支払利息	6,207	5,561
貸倒引当金繰入額	—	6,562
その他	779	924
営業外費用合計	6,987	13,048
経常利益又は経常損失(△)	△20,005	16,433
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,425
子会社株式売却益	—	61,893
その他	—	83
特別利益合計	—	63,402
特別損失		
固定資産除売却損	3,777	—
特別損失合計	3,777	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△23,782	79,836
法人税等	△9,083	30,270
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△14,699	49,565
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△14,699	49,565

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△14,699	49,565
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,615	18,920
その他の包括利益合計	△5,615	18,920
四半期包括利益	△20,314	68,486
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△20,314	68,486

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△23,782	79,836
減価償却費	30,013	28,353
のれん償却額	41,705	41,463
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,745	4,794
貸倒引当金の増減額(△は減少)	381	5,077
受取利息及び受取配当金	△918	△682
支払利息	6,207	5,561
子会社株式売却損益(△は益)	—	△61,893
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1,425
固定資産除売却損益(△は益)	3,777	△83
売上債権の増減額(△は増加)	76,082	△59,856
未収入金の増減額(△は増加)	17,471	△11,982
棚卸資産の増減額(△は増加)	△19,455	△14,458
仕入債務の増減額(△は減少)	△56,786	42,139
未払消費税等の増減額(△は減少)	5,093	△21,546
その他	△22,784	△13,672
小計	59,751	21,625
利息及び配当金の受取額	918	682
利息の支払額	△6,233	△5,429
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	17,553	△23,748
営業活動によるキャッシュ・フロー	71,989	△6,869
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,962	△5,349
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△7,662
敷金及び保証金の差入による支出	△17,016	△4,110
投資有価証券の取得による支出	△658	△199
投資有価証券の売却による収入	—	9,425
その他	11,813	4,351
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,824	△3,544
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	30,000	—
長期借入れによる収入	100,000	170,000
長期借入金の返済による支出	△152,190	△156,962
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△42,190	△6,962
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	11,974	△17,376
現金及び現金同等物の期首残高	496,410	664,506
現金及び現金同等物の四半期末残高	508,384	647,129

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

当第2四半期連結会計期間より、当社の連結子会社であった株式会社Axis及びスマホステーション株式会社は、同じく当社の連結子会社である株式会社スマホスピタルを吸収合併存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。なお、株式会社Axisは、当社の特定子会社に該当しておりました。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。